

「協働」による「都市再生」と「コミュニティ創生」で

市民の皆様とともに、「価値創造都市・三鷹」の推進を

～「三鷹市自治体経営白書 2015」の発行にあたって～

このたび、平成 26 (2014) 年度における三鷹市政の主な取り組みについて、その進捗度と成果、今後の課題を明らかにした『自治体経営白書 2015』をまとめました。なお、この白書では、26 年度が 23 年度に策定した『第 4 次三鷹市基本計画』の前期 4 年間 (平成 23～26 年度) の最終目標年次であったことから、前期 4 年間の達成状況等についても総合的に記載しています。

平成 26 年度は、『第 4 次三鷹市基本計画』の前期 4 年間を検証しつつ、計画中期以降に向けて、最重点プロジェクトである「都市再生」と「コミュニティ創生」などの施策を着実に推進しました。「都市再生」の取り組みとしては、新川防災公園・多機能複合施設 (仮称) 整備事業が進展したほか、井の頭・玉川上水周辺地区で三鷹台地区公会堂や五小児童保育所等を集約した複合施設の整備が完了しました。また、「コミュニティ創生」の取り組みとして、市内 7 か所目となる地域ケアネットワークが大沢地区で設立され、市内すべてのコミュニティ住区において活動が展開されることとなりました。このほか、平成 26 年 6 月 24 日の大量の降ひょうに対して、庁内の組織間及び関係機関等との連携による迅速な対応が行われるなど、危機管理対策の成果が表れるとともに課題も再確認しました。

一方、この 4 年間は、いわゆるリーマンショック以降の厳しい財政状況のもと、「事務事業総点検運動推進本部」を設置し、すべての事務事業をゼロベースで見直す事務事業の総点検に取り組み、財政の健全性を維持しつつ的確な市政運営を進めました。平成 26 年度は、3 年間の「事務事業総点検運動」の成果を踏まえ、従来の行政評価制度を発展・拡充した「対話による創造的事業改善」を本格的に実施し、事業改善に向けた庁内部門間の「対話」により多角的にきめ細かく検証しながら、サービスの質と量の適正化を図りました。あわせて、きめ細やかな配慮と創意工夫によって経費をかけずに事業の成果や市民満足度を高める「ゼロ・アップ創造予算」を積極的に推進しました。

冒頭に掲載している巻頭論文では、杏林大学のこれまでの三鷹市における事例などを踏まえて、杏林大学の跡見裕学長に「大学と地域の連携～三鷹市の事例から～」についてご寄稿いただきました。論文では、行政や市民の皆様とともに、大学の有する知的財産を積極的に活用する体制のあり方など、「三鷹市の価値」をさらに高めていくために貴重なご提言をいただきました。

さて、私は平成 27 年 4 月執行の三鷹市長選挙において、改めて市民の皆様のご信任をいただき、4 期目の任期に入りました。これからも行財政についての真摯な検証を基礎に、徹底した情報公開と情報提供を行うことに努め、市民の皆様の信頼に基づく市政運営を進めていきたいと考えています。

三鷹市では、これまで「民学産公の協働」の実践を重ねてきています。「協働」の中から生まれる「感動」が、三鷹のまちを「躍動」させるエネルギーとなると信じています。今まで以上に「いきいきと輝くまち」に向けて、「都市再生」と「コミュニティ創生」をはじめとする「高環境・高福祉のまちづくり」の充実を通して、「安全安心のまちづくり」を進め、市民の皆様とともに、「価値創造都市・三鷹」を推進していきたいと考えています。

この「自治体経営白書 2015」を市民の皆様がこれからの三鷹市の自治体経営のあり方をご一緒に考えていただく資料として活用していただければ幸いです。

平成 27 (2015) 年 7 月

三鷹市長 清原慶子

三鷹市自治体経営白書 2015 目次

「協働」による「都市再生」と「コミュニティ創生」で
市民の皆様とともに、「価値創造都市・三鷹」の推進を

三鷹市長 清原 慶子

特別寄稿

大学と地域の連携～三鷹市の事例から～

跡見 裕 杏林大学学長… 2

第Ⅰ章 基本構想で定める「自治体経営の基本的な考え方」に基づく取り組み

| | |
|---|----|
| 平成 26 年度の主な「三鷹市らしい取り組み」 | 12 |
| 平成 26 年度の三鷹の主な出来事 | 13 |
| 1 納税課の収納率向上への挑戦 | 14 |
| 2 庁内関係部署及び市内関係機関の連携による降ひょう、大雨への緊急対応 | 16 |
| 3 保育の質を確保した効率的な運営形態の展開 ～公設民営保育園の公私連携型民設民営化の取り組み～ | 18 |
| 4 学力調査分析に基づいた「三鷹『学び』のスタンダード」を作成 | 20 |
| 5 開館 50 周年を機に始まる新たな図書館づくり ～担い手の養成とロゴマークの作成～ | 22 |

第Ⅱ章 第 4 次三鷹市基本計画の達成状況

| | |
|-----------------------------|----|
| 1 第 4 次基本計画の概要 | 26 |
| (1) 第 4 次基本計画 | 26 |
| (2) 第 4 次基本計画の構成とまちづくり指標の設定 | 26 |
| (3) 本章の構成とまちづくり指標の達成状況 | 26 |
| 2 第 4 次基本計画全 33 施策の達成状況 | 27 |
| 3 平成 26 年度事業評価 評価結果概要 | 61 |

第Ⅲ章 「各部の運営方針と目標」の達成状況

| | |
|----------|-----|
| 1 企 画 部 | 64 |
| 2 総 務 部 | 73 |
| 3 市 民 部 | 80 |
| 4 生活環境部 | 85 |
| 5 健康福祉部 | 92 |
| 6 子ども政策部 | 100 |
| 7 都市整備部 | 108 |
| 8 教 育 部 | 116 |

第Ⅳ章 行財政改革アクションプラン 2022 の達成状況等

| | | |
|-----|-------------------------------|-----|
| 1 | 行財政改革アクションプラン 2022 の概要 | 126 |
| 2 | 行財政改革アクションプラン 2022 の達成状況 | 127 |
| (1) | 主要な取り組みの達成状況 | 128 |
| (2) | 最重点、重点及び推進課題の達成状況一覧 | 129 |
| 3 | 事務事業総点検運動等の取り組み状況 | 141 |
| (1) | 「事務事業総点検運動」と「公共施設総点検運動」の推進 | 141 |
| (2) | 「対話による創造的事業改善」の取り組み | 141 |
| (3) | 事務事業総点検運動等による主な事業見直し等一覧 | 142 |
| (4) | 事務事業総点検運動等に基づく事業見直し等による財源効果 | 145 |
| (5) | 行財政改革アクションプラン 2022 の改定に向けて | 145 |
| 4 | 2014 年市長表彰及び平成 26 年度職員提案表彰の結果 | 146 |
| (1) | 市長表彰（ベストプラクティス表彰） | 146 |
| (2) | 職員提案表彰 | 147 |

第Ⅴ章 三鷹市の財政状況 **平成 25 年度**

| | | |
|---|--------------------------|-----|
| 1 | 決算額の推移と平成 25 年度決算の特徴点 | 150 |
| 2 | 財政指標の目標達成状況 | 154 |
| 3 | 財政比較分析表 | 163 |
| 4 | 経常経費分析表 | 168 |
| 5 | 財政状況等一覧表 | 172 |
| 6 | 「地方公共団体財政健全化法」による健全化判断比率 | 173 |
| 7 | 決算カードによる財政状況検証 | 174 |
| 8 | 財務諸表 | 178 |

別冊 資料編（目次）

| | | |
|-----|-----------------|---|
| 第Ⅰ章 | 平成 26 年度事業評価の結果 | 1 |
|-----|-----------------|---|

第Ⅱ章 三鷹市の財務諸表（詳細版） **平成 25 年度**

| | | |
|---|--------------|-----|
| 1 | 普通会計貸借対照表 | 92 |
| 2 | 普通会計行政コスト計算書 | 116 |
| 3 | 普通会計純資産変動計算書 | 125 |
| 4 | 普通会計資金収支計算書 | 128 |
| 5 | 三鷹市全体の財務諸表 | 134 |
| 6 | 連結財務諸表 | 146 |

三鷹市自治体経営白書 2015 構成

特別寄稿

平成 28 年 4 月に杏林大学井の頭新キャンパスがオープン予定ですが、三鷹市におけるこれまでの事例などを踏まえた地域における大学の役割等について、跡見 裕 杏林大学学長からの論考を掲載しています。

第 I 章 基本構想で定める「自治体経営の基本的な考え方」に基づく取り組み

基本構想に定める自治体経営の基本的な考え方に則った施策展開の事例について、平成 26 年度の取り組みとして「納税課の収納率向上への挑戦」など 5 事業について掲載しています。また、平成 26 年度中の三鷹市の主な出来事に関する一覧を掲載しています。

第 II 章 第 4 次三鷹市基本計画の達成状況

平成 24 年 3 月に策定した第 4 次基本計画の概要や、全 33 施策の平成 26 年度の成果と第 4 次基本計画（前期）の達成状況等について掲載しています。また、計画に掲載する主要事業等の個別事業の取り組み状況及び成果に関して、平成 26 年度事業評価結果の概要を掲載しています。

第 III 章 「各部の運営方針と目標」の達成状況

「各部の運営方針と目標」の達成状況を掲載しています。「各部の運営方針と目標」は、①部の使命・目標に関する認識、②職員数、予算規模等の部の経営資源、③部の実施方針及び個別事業の目標等で構成されています。平成 26 年度の達成状況については、個別事業とその目標の実績について取りまとめしています。

第 IV 章 行財政改革アクションプラン 2022 の達成状況等

平成 24 年 3 月に策定した行財政改革アクションプラン 2022 の概要や、平成 25 年度に効果等があった主な取り組みを説明しています。また、事務事業総点検運動等の取り組み状況及び財源効果等に関する説明や、2013 年市長表彰（ベストプラクティス表彰）の結果等についても掲載しています。

第 V 章 三鷹市の財政状況

平成 25 年度までの決算データをもとに、市の歳入・歳出等に関する財政状況を説明するとともに、平成 25 年度の財務諸表の概要版としてバランスシート、行政コスト計算書、キャッシュ・フロー計算書を掲載しています。また、地方公共団体財政健全化法による健全化判断比率についても掲載しています。

別冊 資料編

平成 26 年度事業評価の対象である 88 事業の評価表全件を掲載するとともに、平成 25 年度の財務諸表（詳細版）としてバランスシート（普通会計）、行政コスト計算書、市全体のバランスシート、連結バランスシート及びキャッシュ・フロー計算書を掲載しています。